



海底に貯蔵したお酒を 味わいました

昨年10月に本市の地域おこし協力隊の企画で実施した海底貯蔵酒イベントで、海底に貯蔵したお酒の引き上げが、3月4日に行われました。

参加した人たちは宮崎鼻沖合100mの海底25mに貯蔵したお酒を引き上げたのち、口之津町の牡蠣小屋「なぎさ丸」で開かれた試飲会で地元産の牡蠣などと一緒に貯蔵酒を味わいました。



思いがこもった絵画を 市へ寄贈

本市(有家町)出身の画家、佐藤政弘さんから、市へ絵画を寄贈していただくことになり、2月20日、寄贈の報告のため佐藤さんが市役所を訪問されました。ありがとうございました。

※絵画の贈呈は、5月4日～6日にかけて、ありえコレジヨホールで開催される「佐藤政弘企画展」終了後に行われる予定です。



【寄贈(予定)作品名】
・漁港の一隅(左)・崎津教会(上)



私たちは被災地を忘れない

3月5日、東日本・熊本復興支援イベント「リメンバー 3.11」が須川港多目的防災広場(西有家町)で開催されました。

会場では、防災・減災にちなんだ催し・出展が並び、特に海上自衛隊輸送船の乗船体験や長崎県防災航空隊ヘリコプターの機内見学、南島原消防署のはしご車搭乗体験には行列ができ、大勢の子ども連れでにぎわいました。



ももいろ気分でオルレを歩く

2月25日、春を感じさせる陽気の中、九州オルレ「南島原コース」で春のフェア「ももいろオルレ」を開催しました。

今回は、お隣の熊本の苓北コース(2月26日開催)と連携したフェアとなり、南島原コースでは約270人が参加しました。

コース上では、「おっぱいぱん」や「桜もち」「梅そうめん」などが参加した人たちにふるまわれました。



過去最多 2,000人超が原城跡を疾走

2月26日、「第26回南島原市原城マラソン大会」が原城跡周辺で開催され、これまでで過去最多の2,000人を超える応募があり、世界遺産候補の原城跡周辺を駆け抜けました。

大会アトラクションでは、マーチングステージ全国大会で優秀賞に輝いた加津佐中学校吹奏楽部や、和道・深江太鼓による演奏のほか、県内のゆるキャラによる「きゃらソン大会」などが開催され、会場を盛り上げました。



春の全国火災予防運動



3月1日、南島原消防署は、地域住民に広く火災予防思想を普及させることや火災防止を目的として、南島原市女性消防団員の瀬川文香さんを一日消防署長に委嘱しました。

午前中の防火啓発パレード出発式では、一日消防署長のあいさつのち、幼年消防クラブ員が「防火の誓い」を発表しました。その後、一行は西有家商店街をパレードし、火災予防を呼びかけました。

Focus in 南島原 まちの話題



新酒の香りに誘われて



昔の面影を残す庄屋のまち、有家町で「ありえぬめぐり 春の陣」が2月18日、19日の2日間にわたって開催されました。

期間中、メイン会場となる5つの蔵では新酒やみそ、醤油をはじめとする数々の地元特産品が並んだほか、春の陣ならではの百年蔵のひな飾りがお披露目され、訪れた人たちを楽しませました。



応募総数過去最多 セミナリヨ現代版画展

今年で16回目を迎える「南島原市セミナリヨ現代版画展」が2月25日に開幕し、表彰式を行いました。今回は応募総数が過去最高の11,792点を記録し、多くの素晴らしい作品が集まりました。

第2部門(中学生の部)でセミナリヨ大賞を受賞した松崎彩華さん(熊本県南小国中1年)は「今の正直な気持ちを表現した」と話していました。